

令和元年(2019年)度 第6回日本科学教育学会研究会(南関東支部開催)プログラム

[テーマ] 自然災害対策に有為な科学的知識・技能と思考・判断・表現力

[日時] 令和2(2020)年3月21日(土)12:00~18:00

[会場] 東京学芸大学 小金井キャンパス N講義棟411教室
〒184-8501東京都小金井市貫井北町4-1-1
会場へのアクセスの詳細は <http://www.u-gakugei.ac.jp/access/> にてご確認ください。

[日程]

11:40~ 受付
12:00~12:10 開会
12:10~13:25 研究発表 I (一般研究)
13:25~13:40 休憩
13:40~14:20 特別講演*
14:20~15:05 研究発表 II (一般研究)
15:05~15:20 休憩
15:20~16:35 研究発表 III (一般研究)
16:35~16:50 休憩
16:50~17:50 研究発表 IV (課題研究)
17:50~18:00 総括
18:00 終了

* 特別講演:

演題 Developing Science Education Curriculum to Complete SDGs Target 4.7 (Education for Sustainable Development)

演者 Professor Dr. Kerstin Kremer

所属 Leibniz University Hannover, Germany

研究発表 I (一般研究)座長: 平田昭雄(東京学芸大学)

- A01 12:10-12:25 STEAM教育における美術と異領域の統合原理の考察(1)-STEAMのAの位置付けに焦点化して-
○畑山未央(東京家政大学)・上野行一(美術による学び研究会)
- A02 12:25-12:40 身体的活動と記憶-盲ろう者の博物館体験に関するインタビューからの一考察-

- 島絵里子(大阪市立自然史博物館)・八木下志麻(国立科学博物館)・土屋順子(国立科学博物館)・小川義和(国立科学博物館)、稲垣成哲(神戸大学)
- A03 12:40-12:55 科学系博物館における2段展示のデザイン:豊橋市自然史博物館のマンガ表現解説法
○稲垣成哲(神戸大学)・楠房子(多摩美術大学)・伊藤みずほ(神戸大学)・松岡敬二(豊橋市自然史博物館)
- A04 12:55-13:10 小学校算数科における具体物を利用した子どもの操作活動
○石井康博(関西大学文学部)
- 13:25-13:40 休憩
- 13:40-14:20 特別講演:Developing Science Education Curriculum to Complete SDGs Target 4.7 (Education for Sustainable Development)
○Professor Dr. Kerstin Kremer (Leibniz University Hannover, Germany)
- 研究発表Ⅱ(一般研究)座長:稲垣成哲(神戸大学)
- A06 14:20-14:35 中学生におけるSDGs実施に向けた理科の学習動機に関する研究
○石川美穂(筑波大学大学院教育研究科)・片平克弘(筑波大学人間系)
- A07 14:35-14:50 中学校理科学習における興味関心を高めるための環境整備
○猪股義信(船橋市立旭中学校)
- A08 14:50-15:05 超音波距離センサを活用した「理数探究」向け教材の実践—ボールが繰り返しばウンドする現象に潜む2次関数の探究—
○天羽康(愛知教育大学附属高等学校)
- 15:05-15:20 休憩
- 研究発表Ⅲ(一般研究)座長:安川洋生(岩手大学教育学部)
- A09 15:20-15:35 「風景をつくるごはん」概念に基づく中学校理科授業実践事例の評価—イメージマップ分析を通して—
○細山田祥太(宮崎大学大学院教育学研究科)・中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科)・真田純子(東京工業大学環境・社会理工学院)
- A10 15:35-15:50 科学の本質(Nature of Science)の理解を育む小学校理科授業の開発
○中山萌絵(埼玉大学教育学部)・小倉康(埼玉大学教育学部)
- A11 15:50-16:05 科学的な深い学びを実現する理科の「見方・考え方」を軸としたカリキュラム試案の開発Ⅶ
○下吉美香(神戸市立雲中小学校)
- A12 16:05-16:20 MESHブロック配置分析によるプログラミング的思考の類型化 —小学校第5学年「流れる水のはたらき」単元の事例—

- 安影亜紀(宮崎大学大学院教育学研究科)・長友晃一(宮崎市立小戸小学校)・新地辰朗(宮崎大学)
- A13 16:20-16:35 理科を学ぶ意義や有用性を実感する授業計画に関する研究 -工学的なアプローチを取り入れて-
- 中村勇稀(埼玉大学教育学部)・小倉康(埼玉大学教育学部)

16:35-16:50 休憩

研究発表Ⅳ(課題研究)座長:小倉康(埼玉大学教育学部)

- A14 16:50-17:05 薬剤耐性菌に関する教育に向けて~スマホ画面から検出される耐性因子の調査~
- 安川洋生(岩手大学教育学部)・岡田菜月(岩手大学技術部)・福士祥代(岩手大学技術部)・八重樫理称(岩手大学教育学部)
- A15 17:05-17:20 燃焼を理解するための概念地図の作成
- 野村祐子(消防大学校消防研究センター)
- A16 17:20-17:35 自然ハザードの原因の視点を取り入れたモデル実験教材の開発
- 川村教一(兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科)・山下清次(秋田大学教育文化学部)
- A17 17:35-17:50 地域の市民に必要な科学的防災リテラシーを育む中等教育プログラムの設計
- 平田昭雄(東京学芸大学)

17:50-18:00 総括

* 新型コロナウイルスの影響拡大により、参加者への危険性が憂慮されると判断した場合は、開催を中止する場合があります。また、開催する場合であっても、以下に該当する方には参加をご遠慮いただくよう、開催会場校より指示が出されております。よろしくご理解、ご協力の程をお願い致します。

- ① 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。
- ② 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- ③ ①及び②以外でも、風邪のような症状があり参加の必要性が低い場合。